

事業名	交通安全指導費			調査番号	14
細事業名	交通安全高齢者宅訪問事業	財務コード	121106		
担当部課室	リニア交通 局 交通政策 課 交通安全 担当 (内線)	1963			

事業の概要

実施期間	始期 S62 年度 ~ 終期 年度
実施主体	県(直営)
目的	だれ(何)を対象に 県内に在住する高齢者 その対象をどのような状態にして 高齢者宅や、老人クラブの集会などに出向いて交通安全指導を行い、交通安全意識の浸透が図られ、交通ルールや自動車等の特性を理解している 結果、何に結びつけるのか 高齢者の交通事故防止
内容	交通安全母の会会員、市町村職員等が高齢者宅を訪問、あるいは、高齢者の集まりに出向き、交通安全指導を行い、交通安全の誓いへの署名、啓発物品の配布等を行う。 平成27年度実績：実施は、8地区の母の会と、4市町村(中央市、昭和町、南部町、富士川町)。 訪問世帯数4,584世帯(前年比+289)、老人クラブ等訪問回数113(前年比+24) 署名人数7,980人(前年比+391)

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	署名人数	目標	13,000	16,500	12,000	12,100	12,000	12,000	
		実績(見込)	10,033	11,920	11,062	7,589	7,980	8,032	
		達成率	77.2	72.2	92.2	62.7	66.5		
		達成区分	c	c	b	c	c		
成果指標	高齢者の交通事故件数	目標	1,616	1,609	1,607	1,527	1,460	1,377	1,361
		実績(見込)	1,557	1,606	1,417	1,358	1,356	1,369	
		達成率	103.8	100.2	113.4	112.4	107.7		
		達成区分	b	b	b	b	b		
決算(予算) 単位:千円		590	590	580	488	534	501	467	

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	c	評価	
成果指標	b		高齢者の交通事故件数は減少しているが、高齢者の交通事故防止に向けた活動は今後も継続する必要がある。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	1世帯でも多く、1回でも多く実施することで、交通安全指導を受ける人が増え、安全思想の普及につながる。また、母の会会員や市町村職員などが地域の高齢者に直接交通安全のアドバイスを行うことで、より効果的に交通安全思想の普及が期待できる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	活動主体である交通安全母の会が、高齢化、会員数の減少により活動が縮小しており、訪問回数の減少につながるおそれがあることから、交通安全母の会を主体としたこれまでの実施方法に加え、高齢者の集まりに直接出向いて行うことで事業の充実を図る。また、本事業を母の会により実施できない市町村や県関係機関の協力を得たうえで、市町村の各種団体等と連携した事業の拡充について検討したい。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	市町村に対し事業への協力を呼びかけ、母の会が存在しない市町村等本事業未実施の市町村で事業を実施する。また、県の既存事業(キラリ光って交通安全など)や、市町村で行っている高齢者が集まる機会(秋の敬老会)を利用して実施し、事業の拡充を図る。
----------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。